

り、京都市内や近隣他府県の消費地に向けての地域配送から地域配送に適している。建物の一部において、冷凍倉庫としての運用も可能とするよう防熱処理を施しているため、15℃からマ

イナス25℃まで幅広い温度帯に対応できる仕様としている。

souco

引っ越し・リフォーム会社向け新プラン

家具・什器の輸送サービスの提供も開始

物流リソースのシェアリングプラットフォームを提供するsouco(本社・東京都千代田区、中原久根人社長)は引っ越し・リフォーム会社向け新プランを3月28日から提供開始した。

新プランでは、立地(引っ越し前後の住所の近隣、工事現場の近隣、荷物の発着地の経路上の立地など)や利用期間(1日

数ヵ月間の自由な期間)の希望に合わせて柔軟に保管スペースを利用できるため、物流コストに無駄なく倉庫利用が可能。3〜4月に繁忙期を迎える引っ越し会社の保管スペースの拡張、またリフォーム工事期間中に顧客荷物や内装建材、施工予定製品などの保管場所を必要とするリフォーム会社に一時保管場所を提供することで、顧客の

課題解決への貢献を目指す。今回の新プランの提供開始に合わせて、家具・什器の輸送サービスの提供も開始。自社で輸送の手段がない場合でも、荷物保管場所の提供と輸送をワンストップで手配することが可能となる。対象となる荷物は、オフィス家具・店舗什器など未梱包品で、倉庫利用者がsoucoサービスを利用する際のオプションとなる。輸送サービスは関東エリア(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)での輸送を中心としてスタートし、順次エリアを拡大する予定。

エスコット

QRコードでトラックの集荷情報を発信

実証実験開始、協力企業を募集

NPO法人エスコット(藤本治生理事長)は、QRコードを活用した物流効率化を提案している。トラックにQRコード(写真)を貼り付けることで、空車で走行し荷物を探していることを可視化。中小運送会社の帰り荷の獲得と車両の有効活用を支援する。このほど実証実験を開始し、車両協力企業を募集している。

藤本理事長によると、走行するトラック車体の活用法は無限大で、例えば、「帰り荷を探す」「ドライバーを募集する」「地元のイベント情報を発信する」「積み荷の販売を支援する」などが考えられる。

実証試験では、空走行時にQRコードで集荷情報を発信。トラックを利用した人はQRコードリーダーで読み、表示される連絡先に電話、またはショートメ

ール等で連絡。互いの条件が合えば輸送を実施する。

荷物受付中であることを表示する「QR車シール」をトラックに貼るだけでなく、営業担当のいない小規模事業者に最適。費用は初回のシール作製費(サイズによって2000〜5000円)のみとなっている。

求荷求車サイトと違い利用料、成約手数料もかからない。藤本氏は空車走行を減らすことで「CO₂削減とドライバーの増収・増益効果が期待でき、

『2024年問題』解決の一手となる可能性がある」としている。

荷物受付中



*貼るだけ集荷のQRシールご希望の方はNPO法人エスコットまで